



第50号

2022年8月

市議会だより



市議会ホームページ

発行／喜多方市議会 編集／議会広報広聴委員会



6月定例会

デマンド交通スマホで利用可能に

おじゃまします市議会です	2
6月定例会議案審議	4
一般質問に14名が登壇	8
請願・陳情の処理経過	16

アイ
1ターン目線で
魅力発信

おじゃまします 市議会です

特

集

程よい不便さが魅力

「このまち・おもしろそう！」を発信して盛り上げたい



今回のおじゃまします市議会はIターンの家族・青年の方との意見交換をしました。



齋藤 真弓さん
(空色カフェ経営)

①Iターン

のきつかけ

齋藤(真) いわき市出身で、今は熱塩加納町で食に関わる仕事をしており、同町の特徴ある学校給食の取組みに魅力を感じ、そんな場所で子供を育てたいなという想いで、こちらに住むことになりました。

齋藤(聡) 会津が好きなのもあり、仕事に追われるよりも自分ができるパソコン関係を活用した仕事ができればなと思います。田舎暮らしに飛び込みました。

村上 岡山出身で東京も

好きですけど、自然や山が好きなのもあり、誘いもあって喜多方に来ることになりました。

関根 東京出身ですが、10年前に喜多方の祖父母が亡くなり、その空き家を活用したい想いで、これまで日本中や世界中を旅してきた経験を活かし、仲間と一緒に移住することにしました。

加藤 埼玉県出身で、関根さんの誘いで移住しました。近所の方も後押ししてくれるし、とてもいいところだなという印象です。

②意欲的に

取り組んでいること

村上 宿の形態にとらわれず、いろいろな方が集えて交流できる場所になりたいという思いで頑張っ

ています。

関根 ゲストハウス「おとまり」ですが、今は「お困り」事の力になりたいという気持ちで、飯豊山小屋トイレの汲み取りの手伝いとか、最近ではキュウリ農家の手伝いとかもやっています。

加藤 飯豊山のトイレの汲み取り手伝いをして、市で飯豊山の登山道を管理しているなんて思ってもみないことがあったことから、飯豊山関係の情報発信に力を入れたいと思います。

齋藤(真) 熱塩加納地区の朝晩の景色の美しさとかをわかってもらいたい、暮らしを楽しんでもらいたい思いで、カフェ経営に取り組んでいます。今の私の暮らしがワーケーションそのものなのかなと感じています。



齋藤 聡さん
(空色カフェ経営)

齋藤(聡) 昔、鎌倉に住んでいた頃、自転車で喜多方を訪れたことがありました。それが初めての喜多方だったけれど、通りがりに見えたものの、今住人になって見えてくるものとは違うと思うので、両方のイメージを比べてみて何かできたらいいなと思っています。

③現在の課題や悩み

関根 常に喜多方をどうしたら盛り上げられるだろうといった思いを巡らせていることが悩みになるのかもしれない。

加藤 ゲストハウスに宿泊する人と、地元の人とが互いに交流できる場所にしたいという思いが悩みです。

齋藤(真) 田舎暮らしを

したい一心で住み始めましたが、地区には村休みの取り決めで、日中は仕事ができなかったりとか、村人足があったりとか、そういった風習とか決まり事などは移住者にはしっくりこない時もあります。

齋藤(聡) 大好きな散歩

のついでに、ちよっとした買い物ができればいいなと思うくらいです。周りにそうしたお店がないのが悩みでしょうか。

村上 私の悩みじゃないのですが、農家さんとか近所の方とかが若者がいなくて人手が足りない話をしているので、そっちの方が心配です。

④将来の展望について

加藤 このまちがとても



関根 竜司さん
(ゲストハウス共同経営)

面白そうだと思ってもらえること、ラーメンだけじゃない喜多方の魅力(飯豊山・そば・水・米)を発掘してどんどん発信していけたらいいなと思っています。

齋藤(真) コロナ禍で閉

塞感がありますが、早くこの状況を脱して、タケノコ掘りとか野草を活かした料理とか、自然の魅力を伝えられることを自分の自信につなげて頑張ればと考えています。

齋藤(聡) 様々な理由で若者の居住が減る中、子供達と、若者達とが接する機会を増やすことができれば、子供たちの考えも変化していくのかなと感じます。まちのために

もそういった機会を創出する何かの取組ができな

いかと思います。

村上 地元の人々は喜多方の良さにもっと気付くべきです。何もないのではなく豊かな自然がたくさんあるのだから、子供たちにもっとそのことを伝



村上 知里さん
(ゲストハウス共同経営)

えていくことが必要だと思います。

関根 喜多方の人は外の人に対して完全オープンではない感じですが、その閉鎖的な部分もあることでこれまで守られてきたものもたくさんある気がします。それがこのまちの強みでもあるので、そういったことを引き出すお手伝いがしたいです。

⑤議会に臨むこと

齋藤(真) 私は学校給食

を考える会という有志の会で活動していて、その中には議員さんもいるし、議会の傍聴をしている友人もいます。意外と議会を身近に感じているので、もっと関わっていったらと思っています。



加藤 大貴さん
(ゲストハウス共同経営)

村上 ○○のまち喜多方が多すぎてイメージがまとまっていない感じ。議会でもまとめられません。

齋藤(聡) 子供たちの意

見を取り上げてみたら面白いのかもしれないと思った次第です。今度ぜひ議会を傍聴してみたいと思います。

⑥移住推進のために望むこと

齋藤(聡) 試しに中期的に住める家をもっとあってもいいと思います。

齋藤(真) 喜多方の程よい不便さをもっとアピールしてみたらどうでしょうか。

他にない特徴があれば移住者ももっと増えるような気がします。

道路橋梁補修経費など可決

6月
定例会

令和4年第5回6月定例会は6月2日から6月16日までの15日間の会期で開催されました。
市長提案により、承認1件、報告8件、予算案6件、条例案10件、その他5件と、請願3件、陳情7件、
議会案3件が提出されました。

令和4年度 6月補正予算

会 計	補 正 額	総 額
一 般	5億3,550万4千円	271億3,254万5千円
特 別	1億3,274万1千円	123億2,703万8千円
下水道事業(収入)	△5千円	21億3,438万9千円
// (支出)	586万1千円	24億4,331万9千円
水道事業(収入)	△70万4千円	13億6,484万3千円
// (支出)	12万1千円	18億7,769万2千円

6
月
定
例
会

補正予算の主な事業

地域公共交通経費



AIオンデマンド交通とは、AIを活用した効率的な配車により、利用者予約に対してリアルタイムに最適配車を行うシステム

【補正額1,199万円】

AIオンデマンド実証運行事業に要する経費

花でもてなす観光喜多方推進経費



三ノ倉高原 ひまわり畑

【補正額198万円】

ひまわりフェスタ音楽コンサート企画運営業務委託料

道路橋梁維持経費



市道 田原・熊倉線に架かる西田原橋

【補正額1億5,347万円】

橋梁長寿命化整備事業に要する経費

ホストタウン推進経費



ウィルソンビル市で行われた七夕まつり

【補正額175万5000円】

ホストタウン交流事業支援業務委託料

議案審議・委員会の審査から

V-I-L-O-W補償金の説明は

不十分ではないか

市は令和2年2月から(株)ジャパンマルチメディア放送とその親会社である(株)エフエム東京の間において、防災行政無線整備に関わるV-I-A-L-E-R-T(V-I-L-O-W)撤退に伴い市が受けた損失について補償交渉を進めてきた。このたび合意書が締結され、補正予算案に補償金(2億4400万円)が計上された。

問 当初市が試算した実損額(5億5000万円)と今回の補償金の関係をどう理解すればよいのか。

答 実損額については地方債と一般財源で予算化したものなので、事業が中止になったとはいえ返済しなくてはならない。5億5000万円が入った場合は公債費に充てる予定であっ

た。ただその後、総務省との協議の中で一括返済ではなく、通常の償還期間での償還となった。この地方債は70%が交付税措置(約3億円)されるので、その分が減額となった。

問 議会への説明が不十分ではないか。最終的な合意を交わす前に説明が必要ではなかったか。

答 補償交渉の途中で方向性が決まっていなかった。その説明はできなかった。ある程度双方で一定の方向性が決まり、合意書締結に向けて進めさせていただきたいと議会全員協議会でお話し上げた。その後、合意書を取り交わし今回の補正予算として計上したのでご了承ください。

変わるデマンド交通その中身は

地域公共交通会議負担金、補助金交付金で1199万円、デジタル田園都市国家構想推進がA-オンデマンド関係の交付金が2200万円。

問 補助額1199万円の内訳を伺う

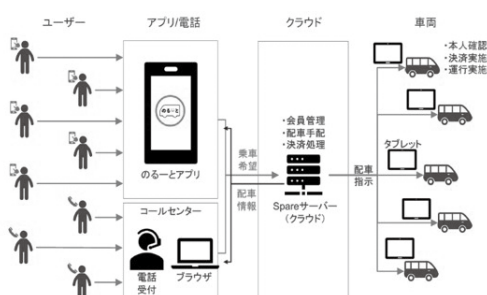
答 デジタル交付金の総事業費は総額4550万円7000円。今回補正でデマンドシステムの構築に990万円、高度化電話受付対応システム構築で209万円、合計1199万円である。交付金は総額に対して2分の1が交付される。

問 24時間対応で見込める効果は。

答 24時間電話対応で特に高齢者、利用者のニーズに的確に対応する。今の予約型乗り合い交通は現在2万4000人の利用だがその2倍が目標である。

問 料金設定や運行業者との説明会など済んだのか。

答 A-オンデマンドでは電話での取次ぎだけではなくアプリも活用できる。料金は大人が400円、子供が250円と考えている。現在、運行業者と協議中である。



AIオンデマンド交通とは、AIを活用した効率的な配車により、利用者予約に対してリアルタイムに最適配車を行うシステム。

禁煙外来治療費の2分の1を助成

市公共施設等における受動喫煙防止対策に関するガイドラインが施行され、令和5年4月1日から全ての公共施設敷地内禁煙となることから、禁煙治療者を支援する事業である。

問 対象人数を40名とした根拠は。

答 昨年度、健診時のアンケートで禁煙を希望される方を確認したところ、約40名程度の希望者がいた。その1割程度を見込んで40名とした。

問 対象人数をもう少し増やすべきではないか。

答 希望される人数が多いようであれば、補正も含めて検討する。

問 補助金の積算根拠は何か。

答 治療費は約2万円から2万4000円弱かか

る想定で、1万円を上限に、2分の1を助成する。事前に禁煙をしたい方に宣言をしていただき、その後、治療に当たると、大体3カ月で5回程度の治療になる。それを実施した後に補助金を支払う。



国保税率

すえ置きにできなかったのか

国民健康保険事業特別会計補正予算1億3946万円の追加。

令和4年度国民健康保険税の賦課は、昨年度と同様に、3方式（所得割、均等割、平等割）とする。具体的には、所得割12.39%（昨年比1.89%増）、均等割3万3400円（昨年比2500円増）、平等割2万2600円（昨年比1200円増）である。なお、市単独保健事業分3100万円、及び財政調整基金積立財源分1億円の法定外繰入を行う。

問 コロナ禍、市内の経済状況が低迷している時期に、国保税を据置にできなかったのか。また、市町村が国保税の軽減のために行う公費繰入れに、国としてはペナルティを科すという説明であるが、国会答弁では、厚労省は公費繰入れ

が自治体の判断である、との立場である。なので、たとえ踏み込んだとしても、繰入金も赤字補填というようなことには当然ならぬと思うが、どうか。

答 平成30年度に税率が改定した以降、単年度収支については、元年度に1億1000万円程度、2年度は1億8600万円、3年度については2億4900万円。赤字が続いている。もっと早く税率改定をすべきであったが、コロナ禍の中先延ばしになってきた。今回基金も今年度で使い果たすと、今後市民の方々に大きな負担をお願いせざるを得なくなるので、税率改定については実施せざるを得ないと判断した。また、市としても法定外の繰入れを実施して、今後の負担をできるだけ減らせるような形で税率改定を提案した。

園芸産地競争力強化事業補助を拡大

農業者の所得向上と競争力のある園芸産地の形成を図るため、さらに補助金283万円を補正し園芸作物の生産拡大を支援する。

問 今回事業の拡大により何棟増えたのか。

答 まずアスパラガスは、当初34棟を予定していたが、変更後は9棟増え43棟となった。

キュウリについては、当初14棟予定していたが1棟減となり13棟。合計して8棟増え56棟となった。

問 今年度の要望の現状は。

答 現在のところ今回の補正予算で追加計上したもので一応完了となる。

予算が通った後、直ちに改修になるがハウスを建てるのに期間が3〜4カ月程度かかるので今後の増はないものと考えている。

問 ハウス栽培は園芸作物全体の作物面積の何%を占めるのか。また、この事業は継続されるのか。

答 令和3年度の実績ではアスパラガスが49・53%、キュウリは11・93%、ミニトマトが6.3%、大玉トマトが1・49%、ニラが1・90%、花きが7・36%で合計が78・51%となる。ハウス栽培の面積が35・70%になるので全体の45・5%となる。

また、この事業は平成29年度から実施していることから、今後も継続されるものと考えている。



▲事業により導入されるパイプハウス

積雪による道路補修予算が増加！

昨年度の大雪により、各行政区からのアスファルト舗装パッチング（軽微な穴埋め）の要望が数多くあり、例年の予算の1.4倍程度になる補正予算を組まざるを得なくなった。また、小さな穴はこの補修や舗装を剥がして再舗装するというような大規模な補修についても補正予算が計上された。

問 かなり積雪が多かったことで補修要望が多くあがっているが、6月補正予算ですべての補修を終えられるのか。

答 6月補正予算の内容は、4月上旬までに確認が取れた部分について計上している。

例年、補修後数か月が経つと周りがえぐられてきたりするため、9月補正予算での対応を考えている。

問 パッチング舗装以外の修繕はどの程度あるのか。

答 常温合材で対応する小さな穴の補修と、舗装を撤去して再度舗装する大規模な補修があるが、小さな穴の補修については数多く、すでに半年分の材料を使ってしまっている。大規模な補修については橋梁長寿命化ということで、国の社会資本整備総合交付金に該当するということから、今回の補正予算に計上している。



▲アスファルト舗装パッチング

喜多方市政のココが知りたい！

一般質問

一般質問は、市政全般について市の方針を質すものです。

6月定例会の一般質問は6月6日から9日までの4日間行われ、14名の議員が登壇し、市民の皆さんの生活にかかわる行政全般について質問をしました。

文面は各議員の自己編集とし、質問した項目のなかから1項目程度を要約して掲載しております。(すべての質問項目は、オンデマンド配信でご覧いただけます。また、会期中はインターネットで中継を配信しています)



※各議員のQRコードをスマートフォンのバーコードリーダーで読み取ると、オンデマンド配信でご覧いただけます。

都市再生整備計画事業(塩川駅周辺地区)の進捗と今後の計画は!



市長 東西自由通路、令和7年度の完成を目指し整備を進める

問 事業の進捗状況と今後の計画、市民への周知について伺う。

答 東西自由通路実施設計を本年12月の完成、また移転補償工事も進めている。R5年度から工事の施行協定を締結し、事業の推進に努めていく。第1期(～R7)塩川ふれあい会館トイレ改修工事、東西駅前広場の暫定整備を行い、第2期(R8～R11)で東西駅前広場の整備、塩川ふれあい会館の改修工事を行う。また、事業の進捗にあわせた説明会開催や、かわら版による回覧など、分かりやすい周知に努めていく。

問 市内保育施設等のICT導入についての検討は。

答 現在、新型コロナウイルス感染症等の、新たな負担が増えている保育士の保育業務以外の負担軽減を図るため、業務支援システム導入を検討している。また、喜多方市保育所等業務効率化推進事業補助金により、認可幼保施設でのICT導入に向けて支援していく。

問 幼保・小中学校におけるPCR検査配付事業の実績は。

答 認可保育施設1か所23名、小学校5校14名、中学校4校で130名に配布し、陽性者確認件数はゼロである。今後も感染拡大防止に向けて事業を継続していく。

山口 文章議員



「省エネ推進条例」を制定せよ



市長 今回の見直し検討の中で考える

小澤 誠議員



問 F・I・T（再エネ買取り制度）活用について見直す必要がある。どのように見直していけばよいと考えているのか。

答 市としては、自家消費型のエネルギーシステムの普及を、今後よりいっそう推進してまいりたいと考えているため、設備導入を検討する事業者や発電事業者の声に耳を傾けながら、自家消費型の設備導入や地元地域新電力を活用したPPA（電力販売契約）の取組による導入が図られるよう、新たな計画に反映させて参りたい。

問 このプロジェクトは喜多方市でも最重要ともいえる事業の一つだと思う。地域の衰退を食い止め、地域経済の拡大再生産に寄与する事業である。しかも2040年を目標年度としている。喜多方市には今後数十年にわたって推進し成功させてほしい事業である。その決意を示すものとして「喜多方市再生可能エネルギー推進条例」（仮称）を制定して長期的な推進計画として検討すべきだと思いが、市長の考えをお聞かせいただきたい。

答 見直し検討の中で考えていきたい。

各支援学校、保護者送迎に全額補助できないか

市長 燃料が高騰しているので、教育委員会と検討する



齋藤 仁一議員



問 障害のある児童生徒が通っている支援学校の実態と通学手段として通学補助はどうなっているのか。

答 本年5月末現在、会津支援学校小学部に16名、同中学部に9名、猪苗代支援学校小学部に1名、郡山支援学校小学部に1名、聴覚支援学校会津小学校部に2名、須賀川支援学校中学部に1名が通学している。通学は、支援学校が運行するスクールバスを利用している児童生徒と保護者の送迎により通学する児童生徒がいる。また、通学補助については、スクールバス利用の場合は保護者負担がないため通学補助はないが、保護者が送迎する場合

は、保護者の経済的負担軽減のためその負担能力の程度に応じて、国及び県が本人の通学費や付添人の経費に対して、全額または半額の支援を行っている。

問 保護者が送迎している場合の補助の実態はどうなっているのか。また、市として全額補助できないか。

答 国及び県の規定に沿っているので全額補助にはなっていない。国及び県の規定に沿った対応をしていく。

問 市内の児童生徒はスクールバスでの対応など保護者負担がない。各支援学校に保護者が送迎する場合、その費用が全額になるように市の上乗せ補助をすべきと思うがどうか。

答 ガソリンなど燃料が高騰しているの

で、教育委員会と検討する。

官民連携まちなか再生事業を具体的にすべき



市長 地域の特性を生かした未来ビジョンを策定する

遠藤 吉正 議員



問 今年度採択された内容及び予算は。

答 採択内容について、令和4年度事業としてエリアプラットフォームの構築及び未来ビジョン策定のための現状分析や、まちづくりの方針・目標の検討を行う。事業費1000万円で応募したところ350万円で決定となったことから、未来ビジョン策定における実証実験は、次年度に実施する予定である。

問 この事業は、今後2年目までのソフト事業としているが、その後を見据えた事業計画は。

答 今後、策定する未来ビジョンにおいて、中心市街地の将来

像や、その将来像を実現するための施策と役割分担、ロードマップなどを検討しまとめていく。

問 今後の庁内の事業推進体制は。

答 庁内において、企画調整課、地域振興課、財政課、商工課、観光交流課、都市整備課などによる官民連携まちなか再生事業推進チームを編成したところであり、各課横断のもと、中心市街地の活性化に向け、官民一体となり取り組んでいく。



▲喜多方レトロ横丁風景

一般質問

ラーメンが千円になる?市の物価高騰対策は?



市長 総額2億4000万円の対策を7月に打ち出す!

問 コロナ禍の行動制限の緩和による需要の高まりや、ウクライナ戦争の影響、さらには円安の進行などにより諸物価が高騰している。今後の見通しも不明なためどこまで上がるかもわからない。市民生活を支えるためどのような対策をとるのか伺う。

答 まず、子育て世代や非課税世帯を支援するため、6月中に給付金を支給する。また、国の地方創生臨時交付金の追加分を活用した経済活性化を検討中で、7月臨時議会に提出する。

問 小麦の価格が4割近く上がっている。ラーメン店の影響

小島 雄一 議員



▲価格が高騰している配合飼料

を伺う。

答 小麦だけでなく他の材料も上がっている。国に強く要望して対策をとる。

問 畜産における配合飼料が3割程上がっている。輸入牧草も前年比21%の上昇であり、和牛子牛のセリ価格が10万円以上の下落を招いている。深刻な経営の危機に瀕している。市の高騰対策を伺う。

答 下落の幅が大きいく、国の補給金制度の支払いだけでは間に合わない。市独自の対策を検討する。

V-Lowマルチメディア放送に関する補償について



山口 和男 議員



市長 代替策に移行するために要する経費を補償対象とした

問 市が整備したもののうち代替策に移行することで使用できなくなるものとして約5億円、代替策に移行するために新たに必要とする経費として5000万円、これを補償の範囲として交渉を開始した。その市の考え方は概ね了承するが、その5億円が1億8500万円に、5000万円が3600万円になり、市の実損額として2億2100万円をJMB（株）ジャパンマルチメディア放送）に提示しているが、10年間に及ぶ人件費や出張等、必要経費は補償額として要求したのか。

答 合理的な理由がないことから、人件費等は求めなかった。

問 2億2100万円をJMBに提示する段階で議会や市民に対して説明なし、議会、市民をないがしろにする身勝手な答弁で、人件費や迷惑料も含まれる金額なので合意に達した等、実質的な補償の内容とは別に慰謝料的なものも含まれる等、意味不明な答弁では市民は理解できないだろうし、大いに疑問に思う。

答 議会の了承を得て交渉しても相手は株主の合意が得られない等で再交渉の手続きが繰り返されるため、ある程度合意ができる要求額がまとまった段階で議会に説明し、おおむね了解をいただいたため、4月15日に合意書を取り交わした。

持続性の高い農業の実現をどう進める!



市長 足腰の強い農業構造の確立を目指す

問 持続性の高い農業を目指した地域づくりや後継者不足問題の解消、新たな担い手の育成確保に向けた施策、基幹産業の農業と観光業、行政が連携して農業・林業振興に取り組み、民間活力を取り込むなど、農業の活性化を目指した地域づくりが重要となるが、今後の新たな農業の支援策はどう進める。

答 地域における農業の将来像や担い手を定める「人・農地プラン」作成への誘導や支援、営農の省力、低コスト化につなげる集落営農の組織化、法人化への支援、担い手の収益力強化に必要となる農業機械の導入や施設の整備に対する支援

に取り組む。

問 先端技術の導入により、担い手である若者の後継者が増えるものと考えられ、光や温度などの環境データの測定や遠隔操作が可能となるなど、既存施設をスマート化に変えていく必要があると考えるが、その対策はどうする。

答 キュウリ農家の一部に、ハウス内の環境を自動で測定するシステムが導入されているが、今後はアスパラガスやミニトマトにおける自動かん水や施肥システムを用いた栽培実証等が行われており、導入に期待をよせている。

佐原 正秀 議員



不妊治療希望者を、どのように支援していくか



関本 美樹子 議員



市長 支援の継続と拡大を目指していく

問 この4月から、自己負担であった不妊治療が自己負担3割の公的医療保険の適用対象となった。今後、本市はそれらを踏まえ治療者本位に立った対策をどうしていくのか。

答 広報紙などを通して不妊治療への十分な理解を深めるための情報を発信していく。事業所に対して国の助成制度の周知を行うとともに、従業員が安心して不妊治療を受けることができるよう環境づくりの推進を図っていく。

問 治療希望者の相談や情報提供及び意見や希望の受け入れは、どこでしてくれるのか。

答 市においては、保健センターや子育て世代包括支援センター、各総合支所窓口で受け付けている。

問 高齢者の快適な外出を支援するためにも公共のトイレには尿漏れパット用のサニタリーボックスの設置は必要ではないのか。

答 現在、オムツ替えが可能な多機能トイレについては、紙オムツの持ち帰りをお願いしているが、市庁舎や公共の多機能トイレには、今後大規模のサニタリーボックスを設置していくことについて検討していく。



肥料価格の高騰分を補填すべき！

市長 農家が安心して経営できるよう対策を講じる



十二村 秀孝 議員



問 肥料価格の高騰分を補填する制度を立ち上げ、農家が再生産に取り組めるよう支援すべきと考えるが、市の考えは。

答 我が国の化学肥料については、原料の多くをロシアや中国などの諸外国に依存しているため国際価格や運送費の影響を大きく受ける構造となっている。こうした中、国において昨今の国際情勢を踏まえ、肥料価格の安定化に向けモロッコ等から調達を進めており、その輸送コストの掛かり増し経費を負担することとした。しかし、この先も肥料原料の価格が高値で推移し、大幅に値上げせざるを得ない状況である。市としては、今後の生産資材費や農産物の価格の状況に応じて、安心して生産と経営ができるよう対策を講じたい。

問 地域有機資源の活用を推進する考えは。

答 産地交付金を活用した市独自の堆肥施用助成を行ってきたが、高齢化や省力化の流れで、堆肥の施用は散布に労力がかかることや、散布時期が限定されるため取組拡大が進んでいない。

今後、関係機関・団体の意見を踏まえ、更なる活用拡大に向けて検討する。



▲価格が高騰する肥料

地域公共交通計画での、今後の取り組みは？



上野 利一郎 議員



市長 AIオンデマンド交通で、効率化と利便性を図る

問 AIオンデマンド交通導入のメリットは。

答 AIを搭載したシステムを導入により、効率的で最適な配車が可能となり、コースという概念が無くなり、面的な車両の運用も可能となることから、運行車両台数の削減にもつながり、効率的で利便性の高い公共交通を実現できることである。

また、スマートフォンにおける専用アプリを活用することにより、いつでも予約ができるなど、これまでの時刻表といった概念が無くなり、随時の予約・運行が可能となり、利用者ニーズに対し、柔軟に対応できるもの

となっている。

さらには、スマートフォンを所有していない、または使い慣れていない方への対応として、これまでと同様に電話による予約受付を継続し、オペレーターが対応できない時間帯においても、自動音声対応による電話予約受付機能を備えた予約・配車システムを導入することで、高齢者の方にとっても安心して利用できる環境を構築できることである。



▲AIオンデマンド交通のイメージ

物価高騰などの影響を受けている市民の生活を守る支援をすべき



市長 効果的な対策を検討する

問 子育て世代に対する臨時特別給付金の対象拡大および、給付額の上乗せについて伺う。

答 ひとり親世帯および、ひとり親世帯以外の低所得の世帯に対し、児童一人当たり5万円を支給する子育て世帯生活支援特別給付金事業を、今議会に追加議案として提案する。ひとり親世帯で、申請が不要の世帯については6月末に、一人親世帯で申請が必要なる世帯および、ひとり親世帯以外の低所得の世帯に対しては、7月以降順次支援していく。給付金の対象拡大および給付額の上乗せについては、物価高騰対策と併せて判断する。

菊地 とも子 議員



問 物価高騰による給食費値上げを抑えるため、地方創生臨時交付金を活用すべき。

答 地方創生臨時交付金の充当を含めて検討する。

問 誰一人取り残さない市民の生活を守る支援として、生活応援商品券を発行すべき。

答 生活応援商品券事業を含めた生活支援対策および、経済対策を総合的に検討する。



アイデミきたかた第2期計画はどう進めるのか



市長 今年度基本計画を策定し、令和6・7年度で建設の予定

矢吹 哲哉 議員



問 アイデミきたかたに複合化する厚生会館等の廃止予定はないのか。

答 今年度のアイデミきたかた2期計画基本計画策定と合わせ検討していく。

問 第2期施設が完成する7年度で廃止するのではないのか。

答 廃止の方針であるが、いつまでに廃止するかは今後検討していく。

問 跡地の利用計画は。

答 今後、検討していく。

問 施設面積は現在と比べ半分程度になるが、具体的に面積の比較を伺う。

答 現在の図書館は1713平米が15

00平米程度、厚生会館ホールは400平米が450平米の構想である。

問 今後100年利用する図書館として狭すぎるのではないのか。

答 基本的な再検討が必要ではないのか。

答 電子書籍など蔵書数だけでなく、人が集まる施設としていく。

問 新施設の多目的ホールの収容人数はどれくらいを想定か。

答 ステージについては今後検討していくが、収容人数はこれまでと同程度を想定している。

問 これまでと同程度の収容人数とする

答 と、駐車場は何か催しがあれば、それだけでいっぱいになってしまいうのではないのか。

答 現在の施設を集約し利便性のある施設として整備していく。



市民所得向上へ具体的な政策を実施すべき

市長 大きな問題であり政策を推進していく

問 喜多方市民の所得は県内でも低く

(県の調査では、数字のある52市町村中40位)それに伴い生活レベルも低いと思われる。市としても市民所得の向上のため、さらに具体的な政策を行っていくべきではないのか。

答 市民の所得が低いということは大きな問題である。今まで様々な政策を行ってきたが、さらにいろいろと勉強して市民の皆様への生活のレベル向上に向けて努力をしている。

問 利益の出る農業や商業の創出、大企業と地場の企業のマッチング、観光客がお金

伊藤 弘明 議員



を落としてくれる観光産業の育成、医療福祉に携わる皆さんの所得向上、それらの政策を研究して実施していくべきだと思うが、どのように考えるのか。

答 いろいろと調査、研究してまいりたい。

問 商工会議所や商工会、農業関係団体、医療福祉の関係団体と懇談を行い、市民の所得向上に向けて具体的に話し合ってみたらどうか。

答 具体的に何かの打ち出せるのかはわからない所だが、検討してみたい。

子供たちの感染対策について緩和を検討すべき！



蛭川 靖弘 議員



教育長 熱中症対策については重要な課題として取り組む

問 5月以降、国では特に子供たちの学校でのマスク着用について緩和の方向だが本市での対応は。

答 教育委員会では学校生活でのマスク着用は基本的な感染予防対策と考えているが、児童生徒の健康面に配慮しながら、適切にマスクを着用したり外したりすることが必要であり、学校や保護者への周知を図っている。

問 マスクを着用することの弊害について様々な研究結果が報告されているが、どのように認識しているか。

答 熱中症のリスクが高まったり、学習

に集中できなかったりするおそれがあると認識している。

問 6月1日の厚生労働省のアドバイザリーボードでは、マスク着用が原因での不定愁訴（様々な身体的、精神的な不調）を訴える子供たちの事例が数多くあげられていることから、注意深く見守っていただきたい。

答 未成年のワクチン接種について、全国で440件以上の重篤状態の副反応が報告されているが、本市での5歳〜11歳のワクチン接種について再検討が必要ではないか。

答 市民の健康と命を守るのは最大の使命と認識している中で、しっかりと検討して対応する。

全国市議会議長会表彰伝達

第98回全国市議会議長会定期総会において、永年にわたり市議会議員を務められた議員に対して、全国市議会議長会会長から表彰がありました。

6月議会開会日の6月2日、議長から表彰状が授与されました。



小林時夫議員
15年表彰



請願・陳情



次のとおり審査されました。

請願名 (付託先) 提出者 (敬称略)	趣旨	委員会 (賛成：反対) 本会議 (賛成：反対)
請願第3 (文教厚生常任委員会) 国の「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書提出の請願	東日本大震災によって経済的に困窮している家庭の子供たちの就学・修学を保障するため、令和5年度以降も全額国庫で支援する「被災児童生徒就学支援等事業」を継続し、十分な就学支援に必要な予算確保を行うこと。	採択
福島県教職員組合 中央執行委員長 瀬戸 禎子		採択 (21：0)
請願第4 (総務常任委員会) 地方財政の充実・強化を求める意見書提出の請願	1 増大する地方公共団体の財政需要を的確に把握し、それを支える人件費も含めて、十分な地方一般財源総額の確保を図ること。 2 地方単独事業分も含めた十分な社会保障経費の拡充を図ること。また、これらの分野を支える人材確保に向けた自治体の取組を十分に支える財政措置を講じること。 3 新型コロナウイルスワクチン接種体制の確保、感染症対応業務のみに限定しない、より全体的な保健所体制・機能の強化、その他の新型コロナウイルス対応事業、また地域経済の活性化まで踏まえ、十分な財源措置を図ること。 4 地域デジタル社会推進費に相当する財源を継続して確保するなど、十分な財源を保障すること。また、デジタル化が定着化していく過渡期において生じ得る行政需要についても、人材・財源を含めた対応を行うこと。 5 地方交付税の財源保障機能・財政調整機能の強化を図り、市町村合併の算定特例の終了への対応、小規模自治体に配慮した段階補正の強化など対策を講じること。	採択
日本労働組合総連合会福島県連合会 耶麻喜多方地区連合会 議長 齋藤 賢司		採択 (21：0)
請願第5 (文教厚生常任委員会) 市内小中学生及び園児の健やかな成長、発達のための教育と保育活動を求める請願	1 感染対策の徹底を呼びかけるだけではなく、マスク着用における注意点についても教職員、保育士、子供たちと保護者、及び子供に関する公共施設の管理者に周知すること。 2 マスクを着用できない子供たちがいること、また常時マスクを着用することで、学校生活や日常生活に支障を来している子供たちや保護者がいることを広く周知し、マスクを着用していない子供たち及びその保護者の意思を尊重し、差別やいじめ、圧力が生じることのないよう指導すること。 3 喜多方市立学校新型コロナウイルス対策 対応・休業マニュアル等を文部科学省の「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」に準じた内容へ見直し、その内容を私立の幼稚園、保育所及び子供に関する公共施設等にも周知し理解を深めるための働きかけをすること。	採択
こどもの呼吸と笑顔を守る会 共同代表 足利 絵里 岩田 朝美		採択 (21：0)
陳情第2 (文教厚生常任委員会) コロナ感染拡大防止策に関する陳情	界面活性剤付きの空気清浄機でコロナ死者数を減らすために、その方法を広報でお知らせすること。	不採択
津田 紳二		不採択 (0：21)
陳情第3 (総務常任委員会) 女性トイレの維持及びその安心安全の確保に関する陳情	労働安全衛生規則第628条及び事務所衛生基準規則第17条所定の事業所トイレにおける大原則である「男性用と女性用に区別して設けること」については、今後ともこれを崩さないこと。また、公的な建物の公衆便所や大規模小売店舗等の不特定多数が使うトイレについては、女性トイレはすべからず維持し、また、これらのトイレにおいて、女性の安心安全という権利法益を守るべく諸方策を取ることを。	採択
女性スペースを守る会 —LGBT法案における「性自認」に対し慎重な議論を求める会— 共同代表 飯野 香里 井上 恵子 永田 マル 山田 響子		採択 (21：0)
陳情第4 (総務常任委員会) 国民の祝日「海の日」を7月20日に固定化する意見書の提出を求める陳情	現在7月の第3月曜日とされている国民の祝日「海の日」に関し、その制定趣旨等に鑑み、7月20日に固定化すること。	不採択
海事振興連盟 会長 衛藤 征士郎		不採択 (0：21)
陳情第5 (総務常任委員会) 旧喜多方商業高等学校跡地に関する陳情	旧喜多方商業高等学校跡地を利活用し、道の駅の整備に取り組むこと。	不採択
福田 一成		不採択 (0：21)
陳情第6 (総務常任委員会) 旧喜多方東高等学校に関する陳情	旧喜多方東高等学校を利活用し、農業大学の誘致に取り組むこと。	不採択
福田 一成		不採択 (0：21)
陳情第7 (総務常任委員会) 臨時給付金に関する陳情	市民に対する臨時給付金の拡充を図ること。	採択
福田 一成		採択 (12：9)
陳情第8 (総務常任委員会) 沖縄を「捨て石」にしない安全保障政策を求める意見書提出の陳情	1 沖縄を「捨て石」にした差別的な安全保障政策をやめること。 2 辺野古新基地建設を断念すること。 3 普天間基地は「本土」に引き取り、日本全体で問題解決すること。	不採択
辺野古を止める！全国基地引き取り緊急連絡会 代表 漆山 ひとみ		不採択 (9：12)

請願・陳情等

6月定例会審議結果

意見が分かれたもの

採決で賛否が分かれたものについては下記のとおりです。これ以外の案件などは、全会一致で可決されました。すべての議案名と結果は喜多方市議会ホームページをご覧ください。



議員名 議案等名		議決結果 (議決年月日等)	賛・反対	1 矢吹 哲哉	2 小澤 誠	3 山口 文章	4 十二 村秀孝	5 上野 利一郎	6 小島 雄一	7 渡部 一樹	8 蛭川 靖弘	9 菊地 とも子	10 遠藤 吉正	11 小林 時夫	12 関本 美樹子	13 齋藤 仁一	14 田中 雅人	15 五十 嵐吉也	16 齋藤 勘一郎	17 佐藤 忠孝	18 伊藤 弘明	19 後藤 誠司	20 佐原 正秀	21 山口 和男
議案 第52号	令和4年度喜多方市一般会計補正予算(第3号)	原案可決 (令和4年6月16日)	19:2	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 第53号	令和4年度喜多方市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決 (令和4年6月16日)	15:6	●	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	●
議案 第60号	喜多方市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決 (令和4年6月16日)	15:6	●	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	●
陳情 第2	コロナ感染拡大防止策に関する陳情	不採択 (令和4年6月16日)	0:21	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
陳情 第4	国民の祝日「海の日」を7月20日に固定化する意見書の提出を求める陳情	不採択 (令和4年6月16日)	0:21	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
陳情 第5	旧喜多方商業高等学校跡地に関する陳情	不採択 (令和4年6月16日)	0:21	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
陳情 第6	旧喜多方東高等学校に関する陳情	不採択 (令和4年6月16日)	0:21	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
陳情 第7	臨時給付金に関する陳情	採択 (令和4年6月16日)	12:9	○	○	●	●	●	●	○	○	○	●	○	○	○	○	●	●	●	●	○	○	○
陳情 第8	沖縄を「捨て石」にしない安全保障政策を求める意見書提出の陳情	不採択 (令和4年6月16日)	9:12	○	○	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	○	○	○

○は賛成、●は反対、一は欠席、棄は棄権、議長（渡部勇一）は採決に加わらない。

議案第52号 令和4年度喜多方市一般会計補正予算

反対討論 (矢吹哲哉議員)

本市が採用した防災行政無線（V-Low放送）は、相手方事業者によって一方的に令和4年11月に終了することになった。よって、本市は代替経費・損失額について賠償交渉を行い、5億5,000万円を提示した。しかし、国からの補助金分約7割については国が負担することになり、市の直接負担分は約2億2,000万円となった。市はこれを基本に、相手方と合意したとし、今回賠償額2億4,400万円を補正予算計上した。本事業の損失額5億5,000万円全額の賠償を求めるべきである。よって賠償額2億4,400万円とした補正予算に反対する。

賛成討論 (十二村秀孝議員)

始めに、地域公共交通として予約型乗り合い交通みんべえ号にAIを活用した予約配車システムの導入経費や市民の健康を図るための禁煙外来治療費助成事業補助金。豪雪による道路破損修復のためのアスファルト舗装パッチング事業への取組、また、橋梁長寿命化補修事業として西田原橋の補修工事及び舗装補修工事など、これらの計上はどれも市民生活に欠かせない大切な予算化となっている。今後の執行見込みに応じた適切なものと判断し賛成する。

議案第53号 令和4年度喜多方市国民健康保険事業特別会計補正予算

反対討論 (小澤 誠議員)

12～14%の大幅値上げです。もともと国保税は、無職や非正規の人が多く最も平均所得が低いにもかかわらず、最も高い保険料という問題がある。一層の生活苦で診療抑制や重症化が増える危険がある。

そもそも社会保障は、暮らしを守るためにあるが、社会保険料が高く、暮らしを圧迫している。シングルマザーなどは典型的例である。保険料の値上げは本来の社会保障の役割の崩壊につながる危険があり反対する。

賛成討論 (小島雄一議員)

国保会計は、単年度赤字が続いており、一般会計から繰入れして財政の安定化に努めた予算となっている。1兆円の国費を投入し協会けんぽ並みの保険料負担にすべきとの主張は理解できるが、国の制度等の変更を待たなければならない。

国保の安定した運営は重要であり、賛成する。

議案第60号 喜多方市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

反対討論 (小澤 誠議員)

議案第53号と同趣旨により反対する。

賛成討論 (関本美樹子議員)

本税条例の一部改正は、税率の改定及び地方税法施行令の一部改正に伴う課税限度額の引上げをしようとするものであるが、一般会計からの財政支援により被保険者負担の軽減を図ることや、高所得者層と中間所得層の負担のバランスにも配慮したものであり、国民健康保険の安定した事業運営に資するものであることから賛成する。

陳情第2 コロナ感染拡大防止策に関する陳情

反対討論 (山口文章議員)

新型コロナウイルス対策に空気清浄機における有効な方式について、現在、国の見解は出されておらず、消毒・除菌の効果も、効果の根拠も不明であり、根拠のない方法を陳情事項にある広報でお知らせすること

は困難であることから反対する。

陳情第4 国民の祝日「海の日」を7月20日に固定化する意見書提出を求める陳情

反対討論 (遠藤吉正議員)

海の日は1996年7月20日に国民の祝日として施行され、その後、ハッピーマンデー制度により7月第3月曜日を祝日とした。3連休にすることで余暇を楽しみ、また、経済の活性化を促進することを目的に制度化された。現在、広く国民に浸透していることから、固定化する必要は無いので反対する。

陳情第5 旧喜多方商業高等学校跡地に関する陳情

反対討論 (十二村秀孝議員)

願意である、旧喜多方商業高等学校跡地を利活用し道の駅の整備に取り組むということについて述べる。まず、道の駅の機能としてはゆったりとした駐車場・ゆったりとした休憩機能・道路情報や地域の文化や歴史の情報発信のほか物産販売機能などがある。そこからして、立地としては市の中心地よりは国道やバイパスの沿線上に求められる。当学校跡地では道の駅の機能を十分発揮することは難しく、本陳情に反対する。

陳情第6 旧喜多方東高等学校に関する陳情

反対討論 (山口文章議員)

旧喜多方東高等学校を利活用し、農業大学校の誘致に取り組むべきとあるが、この土地は現在県の所有となっている。現今での農業大学校の誘致は困難である。今後、土地が県から本市に所有が移れば、その時点で多くの市民の意見も聞きながら農業大学校なども含めて利活用についての議論が始まる。以上をもって本陳情に反対する。

陳情第7 臨時給付金に関する陳情

反対討論 (伊藤弘明議員)

陳情事項には、10万円の記載はありませんが、陳情書全体の趣旨からすれば「市独自で一人当たり10万円の支給を求めている」と解釈できます。

一人10万円の支給となれば、市に45億円の財源が必要です。臨時交付金が幾ら入るか不明な中で、45億円の支出を伴う内容に安易に賛成できない。

したがって、この陳情に反対する。

陳情第8 沖縄を「捨て石」にしない安全保障政策を求める意見書提出の陳情

反対討論 (伊藤弘明議員)

米軍基地の問題は、多岐にわたって沖縄の皆さんに多大な負担を強いているのは理解をするところでありますが、現在の国際情勢から、日米安全保障は日本にとってはなくてはならないものになっており、日本国民は沖縄と共に歩んでいくことが大切だと考えている。陳情事項にあります沖縄を「捨て石」にした差別的な安全保障ということについては、あまりに主観的で理解ができないことから本陳情には反対する。

賛成討論 (矢吹哲哉議員)

太平洋戦争での沖縄戦では、10万人近くの方が集団自決等を含めて亡くなっており、普天間基地を囲んで町が分断されていることや、不平等な占領下のような日米地位協定の下に置かれている現状について、日米安保条約を認めたとしても、もう一度原点に立ち返ってこの問題を考えていくべきであるという願意であり本陳情に賛成する。

9月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
8/28	29	30	31	1 本会議 (開会、会期決定、 提案理由説明等)	2 休会 (議案調査)	3
4	5 本会議 (一般質問)	6 本会議 (一般質問)	7 本会議 (一般質問)	8 本会議 (一般質問)	9 本会議 (議案審議)	10
11	12 委員会 (各常任委員会 付託案件の審査)	13 休会 (事務整理)	14 休会 (事務整理)	15 本会議 (委員長報告、 各案件決定、閉会)	16	17

9月定例会に行う請願・陳情について

【提出期限】 8月23日（火）午後5時まで

【提出先】 喜多方市議会事務局（市役所4階）

※期限を過ぎて提出されたものは、次回定例会での審査になりますのでご注意ください。

【請願提出に関する必要事項】

請願には必ず1人以上の市議会議員の紹介が必要になりますので、市議会議員にご相談ください。陳情の場合は紹介の必要はありません。

詳しくは、議会事務局 TEL24-5253まで

臨時議会が 開催されました

令和4年度第6回臨時会（7月13日）が開催され、令和4年度喜多方市一般会計補正予算などの提案により、原油価格・物価高騰対策として生活応援商品券事業2億3,000万円などを全会一致で可決した。



※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当面の間、体調のすぐれない方、風邪症状がある方の傍聴はご遠慮いただきますようお願いいたします。

なお、傍聴される方は、手洗い・手指の消毒とマスクの着用、入場前の検温にご協力をお願いいたします。

今後の状況によっては、対応が変わることもありますので、ご了承ください。

エフエムきたかた
議会中継 78.2MHz

定例会の様子を録音放送しています。

開会日の翌週、平日の午後2時～午後5時は、ラジオ放送をぜひお聞きください。

議会
インターネット中継

開会中はライブ（生配信）を視聴できます。

過去の配信映像も視聴できます。



喜多方市議会公式facebookページを開いています。

<https://www.facebook.com/kitakatashigikai/>





取材レポート

移住・定住は地域との連携 そして歴史・文化の継承!

(特集2・3ページをご覧ください。)



ゲストハウスおとまり



空色カフェ

本市へ、I (アイ) ターンで移住されゲストハウスを仲間3人で開業した若い方々、そしてカフェを経営しているご家族の方にお話を伺いました。

話をしているうちにお互いに共通する話題で盛り上がりました。特に、本市の自然のすばらしさや、程良い田舎・程良い不便さなど他にはない多くの資源との話でした。

私たちが当たり前と思っていることや、気が付かない良さなど目を輝かせ話をされていたことがとても印象的でした。

若い方々は、どうしたら喜多方をもっと

盛り上げることができるのか。住んでいる人がもっとワクワクするのか。

ご家族の方は子供に生きる力を養うためには、特に熱塩加納方式給食を大切に継続していくべきとの熱いご意見もあり、議員の私たちもハッと気づかされるご意見などもいただきました。

一方、議会に望むご意見を伺った場面でもトーンダウンしたのが議会として課題であると感じました。議会としても、今回の意見交換会で出たご意見をしっかりと受け止め、市政に反映して参りたいと思います。

背景の絵柄は「喜多方の染型（県有形民俗文化財指定）」「朝顔」です。



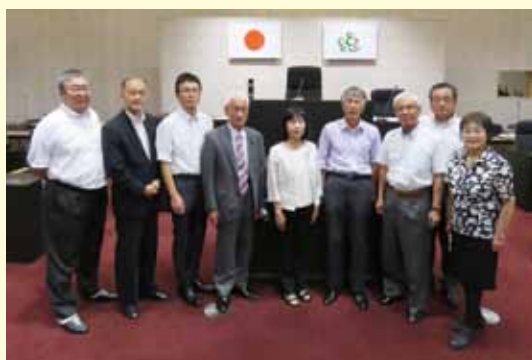
編集後記

市議会だより喜多方は2010年(平成22年)5月の創刊以来、今号で50号を迎えることができました。これもひとえに市民の皆様のご理解があつてこそだと思います。ありがとうございます。

今年の梅雨は史上最速の梅雨明け、2度の梅雨明けなどと言われました。体調管理に気をつけてお過ごし下さい。

議会広報広聴委員会

渡部 一樹



委員長 菊地とも子
副委員長 矢吹 哲哉
委員 渡部 一樹
蛭川 靖弘
遠藤 吉正
関本美樹子

齋藤 仁一
田中 雅人
五十嵐吉也